

## 平塚市中央図書館窓口等業務委託の事業運営に関すること

各事業の実施規模、内容は以下の水準以上とする。

この他の事項については、必要に応じて市と協議する。

### 1 <一日図書館員>

(事業の目的) 図書館業務を体験することによって、図書館に対する関心や理解を深め、図書に対する親しみを養う。

(対象) 平塚市在住・在学の小学生

(会場) 中央図書館内

(期間及び実施時間) 小学校の夏季休業期間を含め、年間8回実施する。  
1回の開催は1時間30分。

(内容) 図書館ガイダンス、館内見学(バックヤード含む)、本の貸出・返却体験(カウンター体験)、本の探し方実習等。  
※エプロンは市の貸与品を使用し、名札を着用する。

(広報) 広報ひらつか、平塚市図書館ホームページ等に掲載  
※広報ひらつかへの掲載は依頼票を作成し、市に提出する。  
ホームページの作成は受託者とし、掲載の承認は市が行う。

(報告) 実施日時、応募人数、参加人数、イベントを行った効果(アンケート「本の探し方が分かった」と回答した参加者の割合、参加者の反響等)を報告する。

(申込及び決定) (1) 申込書(図書館窓口、小学校で配布、ホームページからダウンロード)を、参加を希望する本人又は保護者により提出。  
(2) 定員(各回8名以上)を定め、超えた場合、初参加者を優先し、抽選を行う。  
(3) 参加の可否をメール又は葉書等により通知する。

(令和3年度の実施体制) 各回につき、担当者2名、各フロア補助2名、計4名で対応。

## 2 <中高生ボランティア>

(事業の目的) 図書館におけるボランティアを体験することによって、図書館に対する関心や理解を深め、図書に対する親しみを養う。

(対象) 平塚市在住・在学の中学生・高校生

(会場) 貸出室及びこども室

(期間及び実施時間) 中学校・高校の夏季及び冬季休業期間を中心に年間 12 回実施する。1 回の開催は 2 時間 30 分。

(内容) 図書館ボランティアガイダンス  
書架整理、配架、予約資料探し等の手伝い  
※エプロンは市の貸与品を使用し、名札を着用。

(広報) 広報ひらつか、平塚市図書館ホームページ等に掲載  
※広報ひらつかへの掲載は依頼票を作成し、市に提出する。  
ホームページの作成は受託者とし、掲載の承認は市が行う。

(報告) 実施日時、応募人数、参加人数、イベントを行った効果（アンケート等による参加者の反響等）を市に報告する。

(申込及び決定) (1) 申込書（図書館窓口、青少年会館等での配布やホームページからダウンロード）の提出。  
(2) 定員を定め、超えた場合、抽選を行う。  
(3) 参加の可否をメール又は葉書等により通知する。

(令和 3 年度の実施体制) 各回につき、担当者 2 名、各フロア補助 2 名、計 4 名で対応。

### 3 <市民の図書館体験>

(目的) 図書館業務を体験することによって、図書館に対する関心や理解を深め、図書に対する親しみを養う。

(対象) 18歳以上の市民

(会場) 中央図書館内

(期間及び実施時間) 年間4回実施する。1回の開催は1時間30分。

(内容) 図書館ガイダンス、館内見学(バックヤード含む)、本の貸出・返却体験、書架整理、配架等の業務体験。  
※エプロンは市の貸与品を使用し、名札を着用する。

(広報) 広報ひらつか、平塚市図書館ホームページ等に掲載  
※広報ひらつかへの掲載は依頼票を作成し、市に提出する。  
ホームページの作成は受託者とし、掲載の承認は市が行う。

(報告) 実施日時、応募人数、参加人数、イベントを行った効果(アンケート等による参加者の反響等)を報告する。

(申込及び決定) (1) 申込書(図書館窓口、各公民館等に配布、ホームページからダウンロード)の提出。  
(2) 定員を定め、超えた場合、初参加者を優先し、抽選を行う。  
(3) 参加の可否をメール又は葉書等により通知する。

(令和3年度の実施体制) 各回につき、担当者2名、各フロア補助2名、計4名で対応。

#### 4 <映画会>

(事業の目的) 図書館の視聴覚資料を紹介し、原作やテーマに関する図書館資料の利用を促し読書への関心を高める。

(対象) 図書館利用者(子ども、一般)

(会場) 3階ホール

(実施回数) 年間8回程度、主に土曜日・日曜日実施する。

(内容) 子ども向け、一般向けの映画会を開催する。  
上映スケジュール作成、上映予定ポスターの作成・掲示、会場準備、受付、司会、上映等。  
上映作品は、中央図書館視聴覚ライブラリー所蔵の上映権付資料の中から選定する。

(広報) 広報ひらつか、平塚市図書館ホームページ等に掲載  
※広報ひらつかへの掲載は依頼票を作成し、市に提出する。  
ホームページの作成は受託者とし、掲載の承認は市が行う。

(報告) 実施日時、参加人数、イベントを行った効果を市に報告する。

(令和4年度の実施体制) 各回につき1人。

小学校の夏季休業期間に子ども向け2回、一般向け(地域資料)2回上映(実績)。

## 5 <特集展示>

(事業の目的) 図書館の資料や情報を紹介する。あるテーマに沿って資料を特集することで、利用者が気づき資料を選ぶことを助け、また利用の少ない資料の利用を促す。

(会場) こども室、貸出室、参考室

(期間) 展示テーマにつき概ね1週間から2か月程度

(回数) 各フロアにつき年間5回以上

(内容) 目的と時節にふさわしい内容の資料展示を行う。平塚市が指定する展示テーマを含む。

貸出室、こども室は必要に応じて展示用書架コード及び装備を変更する。

(広報) 広報ひらつか、平塚市図書館ホームページ等に掲載

※広報ひらつかへの掲載は依頼票を作成し、市に提出する。

ホームページの作成は受託者とし、掲載の承認は市が行う。

(報告) 展示タイトル、期間、展示を行った効果(利用者の反響等)を市に報告する。

(その他) 展示資料は平塚市図書館ホームページの「テーマ資料」に掲載する。

禁帯出資料の展示には市の許可を得ること。

展示棚、ガラスケースの使用可。

(令和3年度の市企画展示テーマ) こども室:子ども読書の日、SDGs、こころと命のサポートの本(自殺予防対策)

貸出室:こころと命のサポートの本(自殺予防対策)、  
認知症啓発、ビジネス支援、男女共同参画

参考室:博物館連携、他市連携、3館(中央図書館、博物館、美術館)コラボ

## 6 <本の福袋>

(事業の目的) 資料及び図書館の利用促進、スタッフが選書を体験することによって、資料に対する知識を深め、図書館利用者とスタッフの読書を通じた文化的交流を図る。

(会場) 貸出室及びこども室

(期間) 1月(概ね1か月とし、準備したセットが無くなり次第終了とする)

(提供数) 一般、児童各30セット、合計60セット程度

(内容) テーマを設定した資料を包装紙でくるむ等の装備を行い、中身が見えない福袋に仕立てて貸出する。テーマと対象者(一般、幼児、小学校低学年、中学年、高学年など)を表示。

(広報) 広報ひらつか、平塚市図書館ホームページ等に掲載  
※広報ひらつかへの掲載は依頼票を作成し、市に提出する。  
ホームページの作成は受託者とし、掲載の承認は市が行う。

(報告) 実施期間、作成セット数、貸出セット数、イベントを行った効果(利用者の反響等)を市に報告する。

(令和3年度の実施について) 全スタッフが参加。利用者の反響を知るためアンケートを挟んで貸出した。

(令和4年度の実施予定) 利用者にテーマ募集を行う。

## 7 <児童書リサイクルフェア>

(事業の目的) 図書館で不要になった資料を市内の団体に提供し、有効活用してもらう。

(対象) 市内の小学校・中学校・幼稚園・保育園・学童・支援学校・放課後デイサービス・児童発達支援事業所・つどいの広場・公民館等、子どもや子育てに関わる施設及び団体

(会場) 3階ホール及び会議室

(期間) 年1回実施する。1回の開催は3時間。

(提供資料) 除籍した資料、寄贈資料(図書・絵本・雑誌・紙芝居を含む。)

(内容) 提供資料を会場に並べ、参加団体が選び持ち帰ってもらう。  
配送は行わない。  
1団体毎の持ち帰り可能点数を調整する。

(周知) 施設及び団体への周知方法は、市と協議する。

(報告) 実施期間、参加団体数、提供数、イベントを行った効果(利用者の反響等)を市に報告する。

(平成29年度の実施体制) 連続2日間(各日3時間)実施。  
各日につき、担当者2名で対応。  
49団体参加、持ち帰り点数約3,200点。